設置ガイド

Cisco TelePresence MX700 デュアル カメラ
壁付け

78-100279-03A0JA | 2016 6 月 | © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

このガイドは、壁付け型のデュアル カメラ付き MX700 について説明します。

安全に関する情報

この製品はサイズが大きく重量があるため、設置手順に従ってこの壁面取り付け型システムを安全に取り付けることが重要です。

壁および取り付け金具は製品を安全に支える必要があります。

壁面取り付け型システムは、国と地域の建物に関する規制に従って、有資格者が設置する必要があります。

作業者数

x3

このシステムの取り付け作業は 3 人で行うことを推奨します。地域の規制に従ってください。

寸法

高さ:	1071 mm (42.2 インチ)
幅:	2517 mm (99.1 インチ)
奥行:	148 mm (5.9 インチ)
重量:	167 kg (368 ポンド)

ルーム設定

オフィスやミーティング ルームをビデオ会議用に整備する際にヒントを得たり、ガイドラインを確認したりするには、Cisco Project Workplace Web サイト (http://www.cisco.com/go/projectworkplace) をご覧ください。

資料

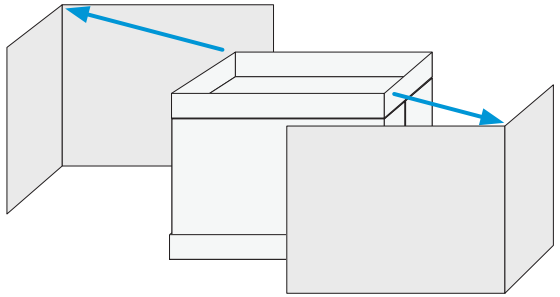
Cisco Spark：Spark 登録済み会議室システムの詳細については、Cisco Spark のヘルプ サイト (http://help.ciscospark.com) にアクセスしてください。

他のサービス：ビデオ システムのユーザ ガイドとコンプライアンスおよび安全性に関する情報を確認するには、シスコ Web サイト (http://www.cisco.com/go/mx-docs) にアクセスしてください。

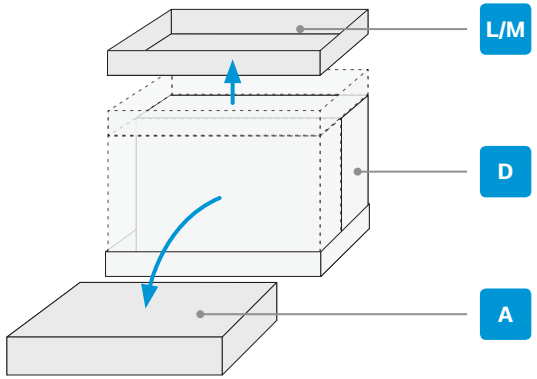
 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

パッケージ

1 プラスチックのスナップ式ロックを開き、側面を取り外します。



2 ボックス L/M を取り外します。ボックス A を床に平に置き、ふたを取り外します。



A … M ボックスには、このガイドで使用する A から M までのラベルが付いています。

B+E-G 中にあるボックスを示します。

工具とネジがこのボックスに入っています。

ネジ

すべての取り付けオプションで同じキットが同梱されるため、ネジ キットには必要数より多くのネジが含まれています。

M6x100、なべ
工具:アレン キー、4 mm

M6x90、さら
工具:アレン キー、4 mm

M6x35、さら
工具:アレン キー、4 mm

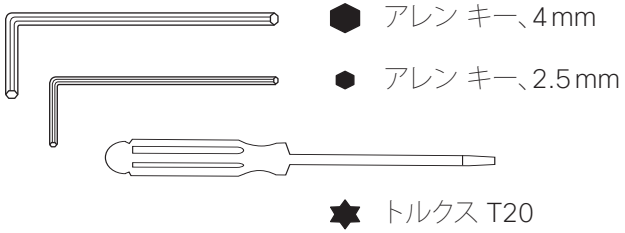
M6x12、なべ
工具:アレン キー、4 mm

M6x12、さら
工具:アレン キー、4 mm

PT4x10、なべ
工具:トルクス T20

M4 X 8、なべ
工具:アレン キー、2.5 mm

ツール



アレン キー、4 mm

アレン キー、2.5 mm

トルクス T20

EMC クラス A 適合宣言

警告:本製品はクラス A 製品です。国内環境で本製品を使用すると、電波障害を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザが十分な対策を講じるように求められることがあります。

声 明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

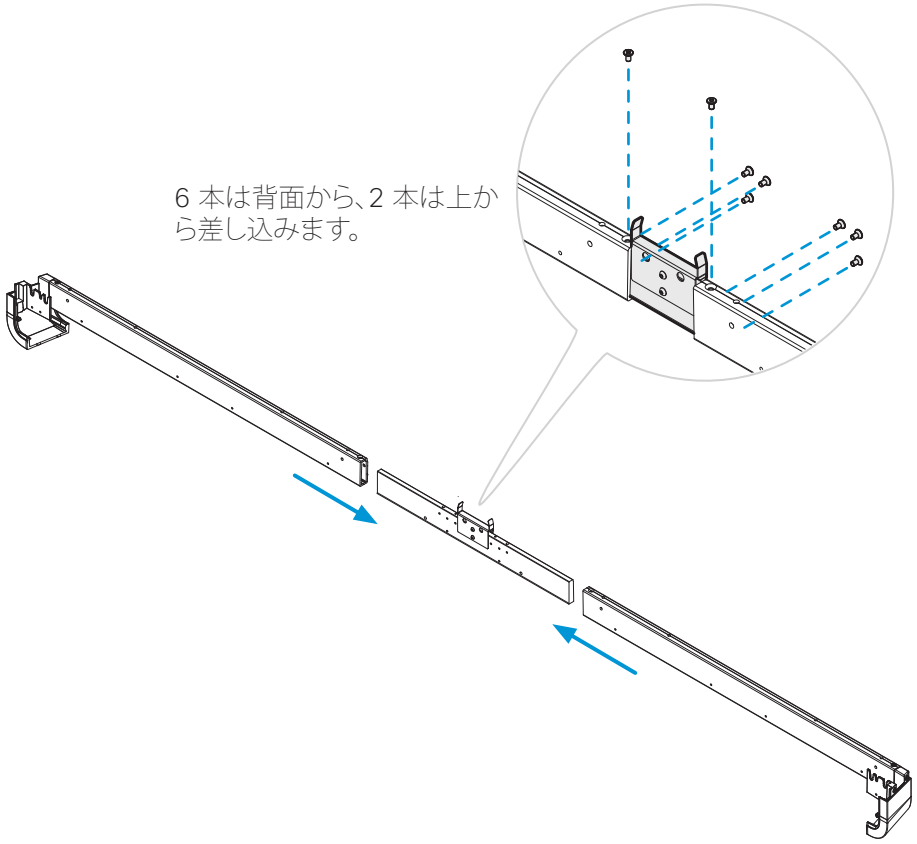
© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

1 下部フレームの組み立て

A、B

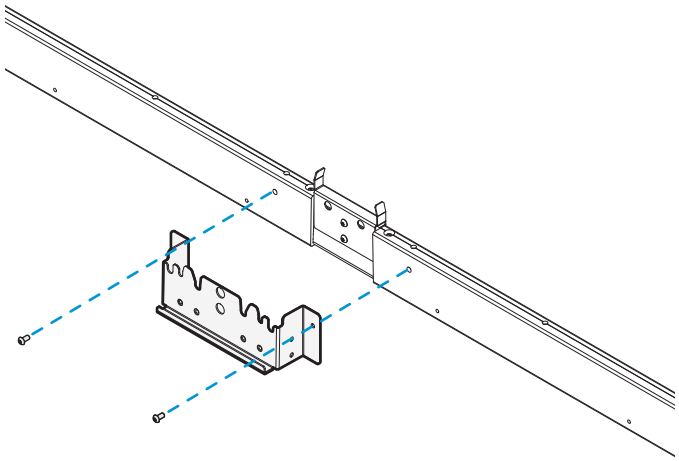
8 X M6x12、さら

6 本は背面から、2 本は上から差し込みます。



2 中央ブラケットの固定

B



2 X M6x12、なべ

© 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

3 左側の壁面用ブラケットの取り付け

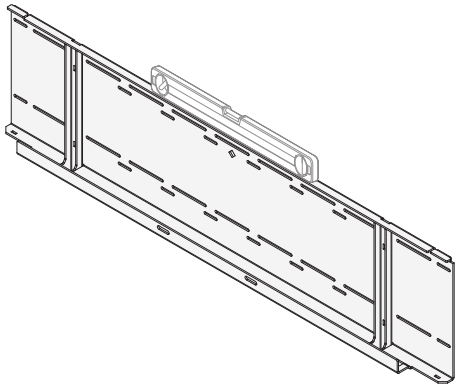
C

壁面用ブラケットが水平であることを確認し、壁に必要なネジ穴の位置をマークします。壁面用ブラケットを固定する際は少なくとも 4 本のネジを使用します。壁面用ブラケットは、どの水平スロットでも固定できます。

安全な方法で壁面用ブラケットを固定し、壁の構造物がシステムの負荷を十分に支持できるようにします（ネジおよび取り付け金具は付属しておらず、図に示されていません）。

画面イメージの下縁はこれらの水平スロットの高さになります。

床からこのラインまでの距離は 70 cm（27.6 インチ）にすることをお勧めします。*



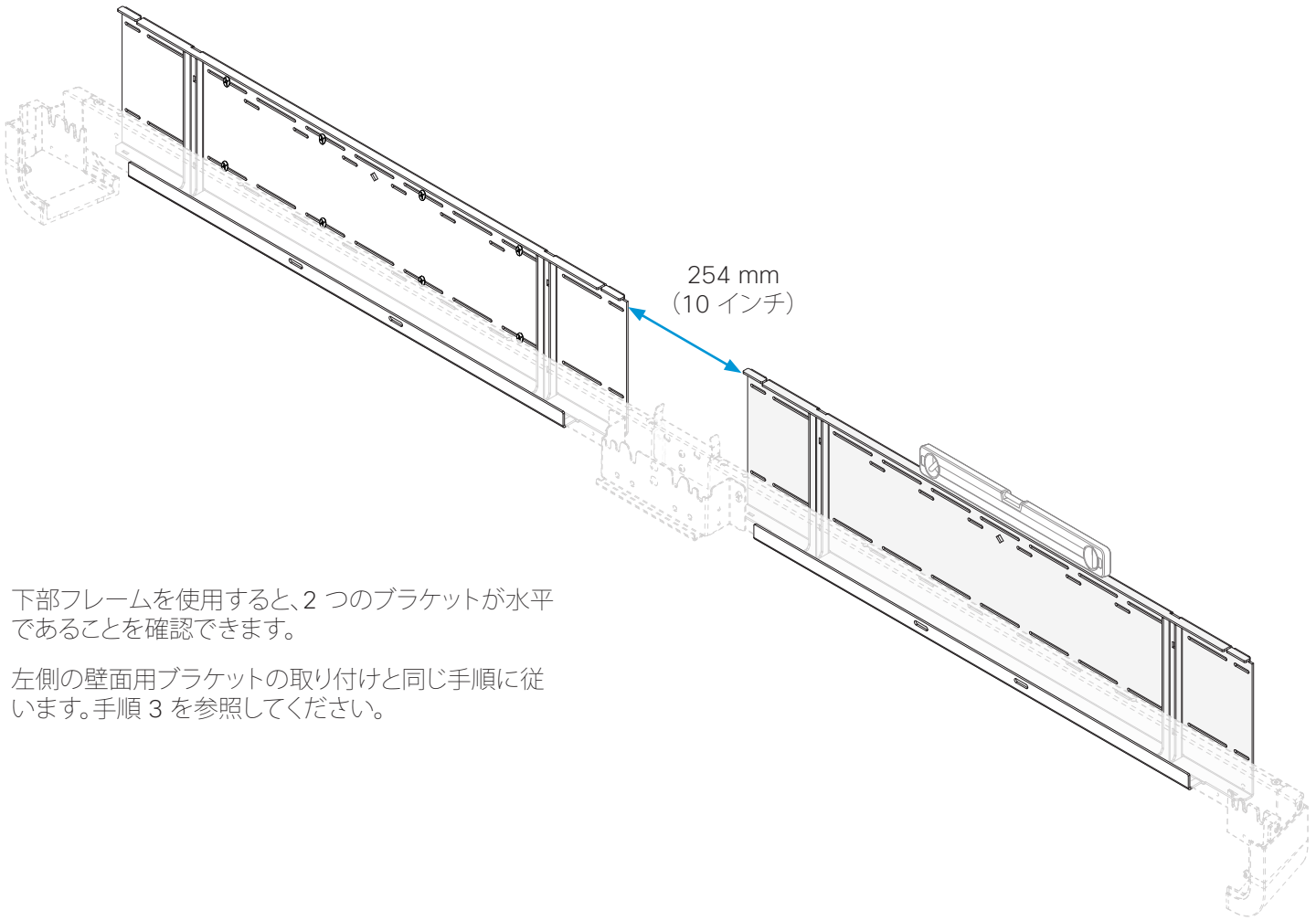
* システムをより高い位置に取り付ける場合は、次の点に注意してください。
- カメラに最も近い場所にいる参加者をキャプチャできるように、ビデオ システムとテーブルの間隔を十分にあけることが必要な場合があります。
- カメラは会議室を俯瞰するかたちになります。この視点は、ビデオ会議に最適ではありません。

詳細情報：http://www.cisco.com/go/projectworkplace

寸法表記付き 2D CAD 図面：http://www.cisco.com/go/mx-docs（テクニカル リファレンス）

4 右側の壁面用ブラケットの取り付け

A

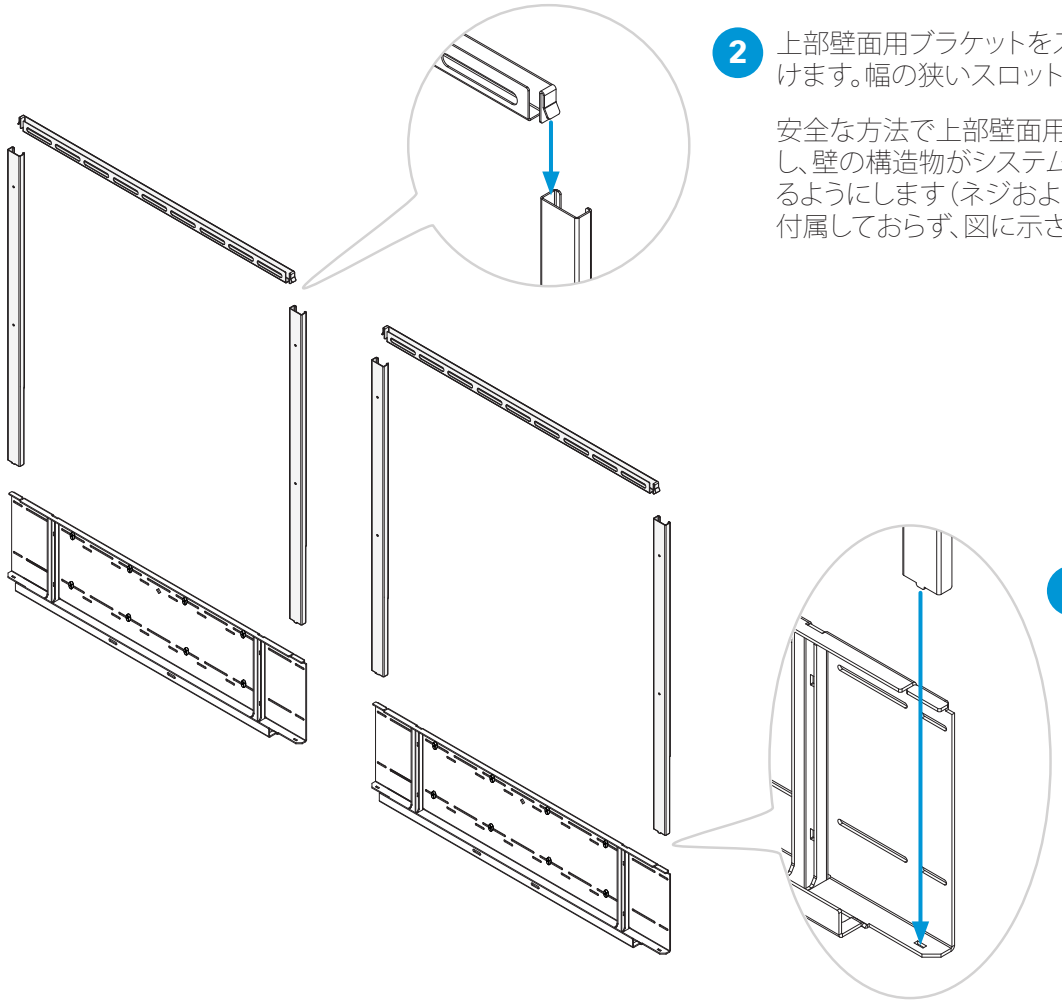


下部フレームを使用すると、2 つのブラケットが水平であることを確認できます。

左側の壁面用ブラケットの取り付けと同じ手順に従います。手順 3 を参照してください。

5 スペーサと上部壁面用ブラケットの取り付け

A



2 上部壁面用ブラケットをスペーサに引っ掛けます。幅の狭いスロットを壁に向けます。

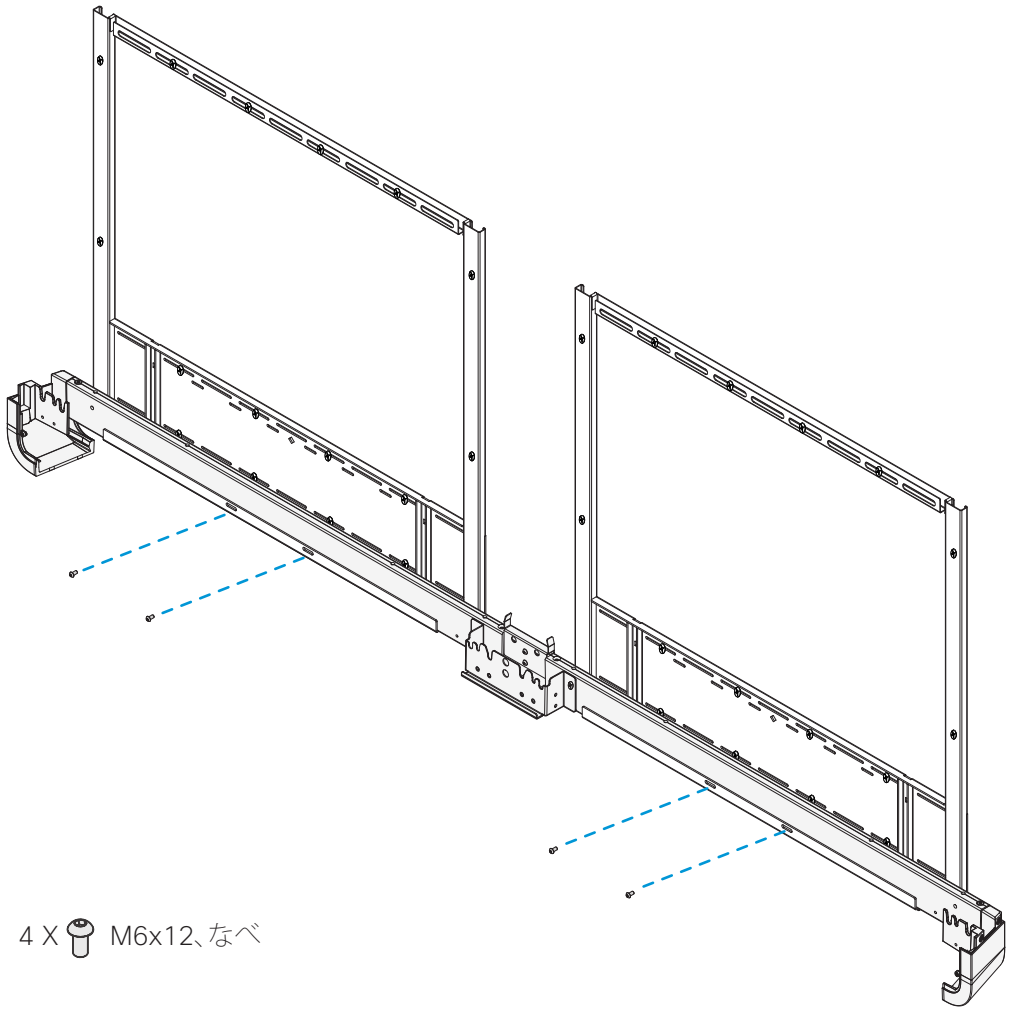
安全な方法で上部壁面用ブラケットを固定し、壁の構造物がシステムを十分に支持できるようにします（ネジおよび取り付け金具は付属しておらず、図に示されていません）。

1 壁面用ブラケットにスペーサを取り付けます。

2 本のネジ（付属しておらず、図に示されていません）を使用してスペーサをそれぞれ固定します。

 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

6 下部フレームの固定

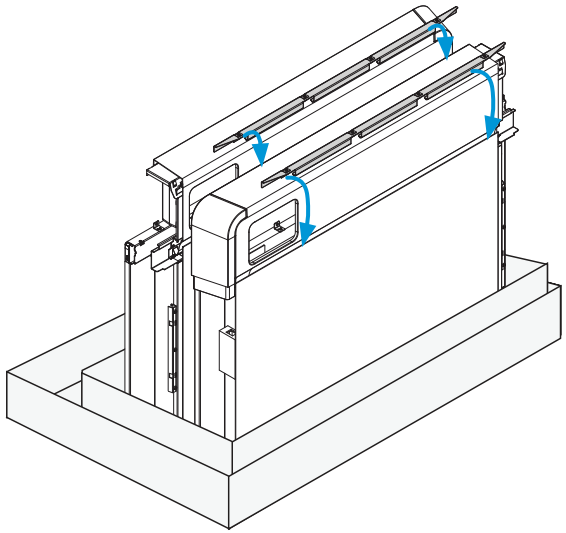


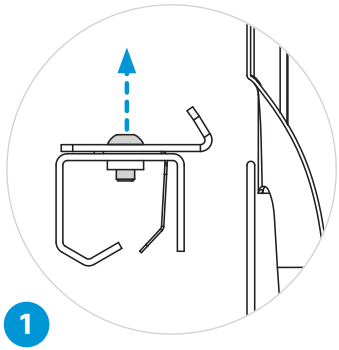
4 X M6x12、なべ

7 モニタへのクランプの固定

A、D

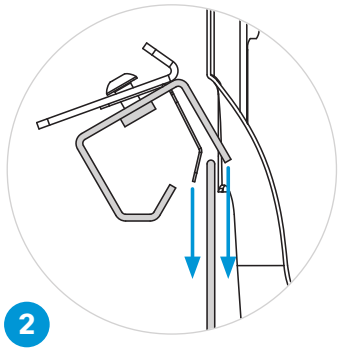
モニタがパッケージに入ったままの状態で、両方のモニタの背面にクランプを取り付けます。





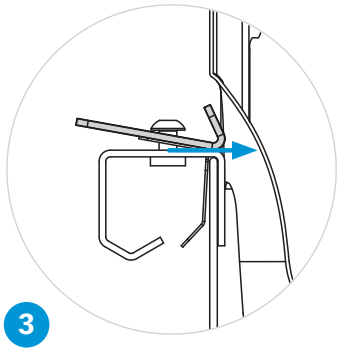
1

2.5 mm のアレン キーを使用して、あらかじめ取り付けられているネジを外れない程度に緩めます。



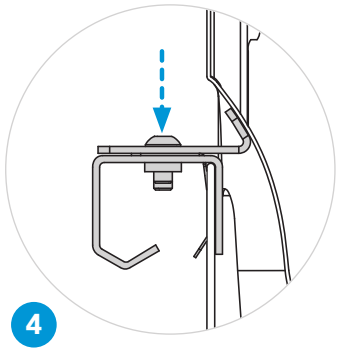
2

クランプをモニタの所定の位置にスライドさせ、小さなクランプがすべて適切にはまっていることを確認します。



3

支持ブラケットがモニタの背後のプレートに密着するように押します。



4

ネジを締め、クランプが適切に固定されていることを確認します。

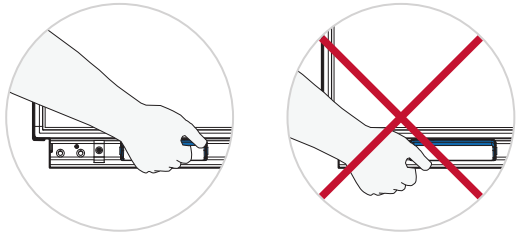
8 モニタ取り付け前の注意事項

モニタは重量物です

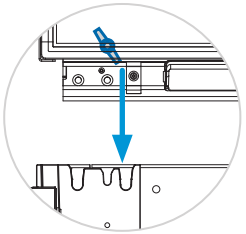
モニタの取り付け作業は 3 人で行うことを推奨します。2 人は、このページで説明する持ち手を使ってモニタを持ち上げます。もう 1 人は、モニタが倒れないように支え、モニタが正しくスロットに入っていることを確認する必要があります。

持ち上げ用のハンドルを使用してください

指が挟まれないように、モニタ底部にある持ち手を使用してください。

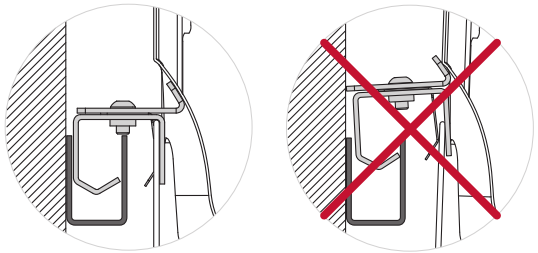


モニタ側から確認できる蝶ナット付きのネジは下部フレームの両側の中央スロットに入れる必要があります。



手順 9 および 11 の注意事項

モニタを持ち上げて壁面用ブラケットに配置する際は、モニタ背面のクランプが上部壁面用ブラケットに完全にスライドするようにモニタを壁に近づけたままにします。



 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

9 左モニタを持ち上げて下側フレームに乗せる

D

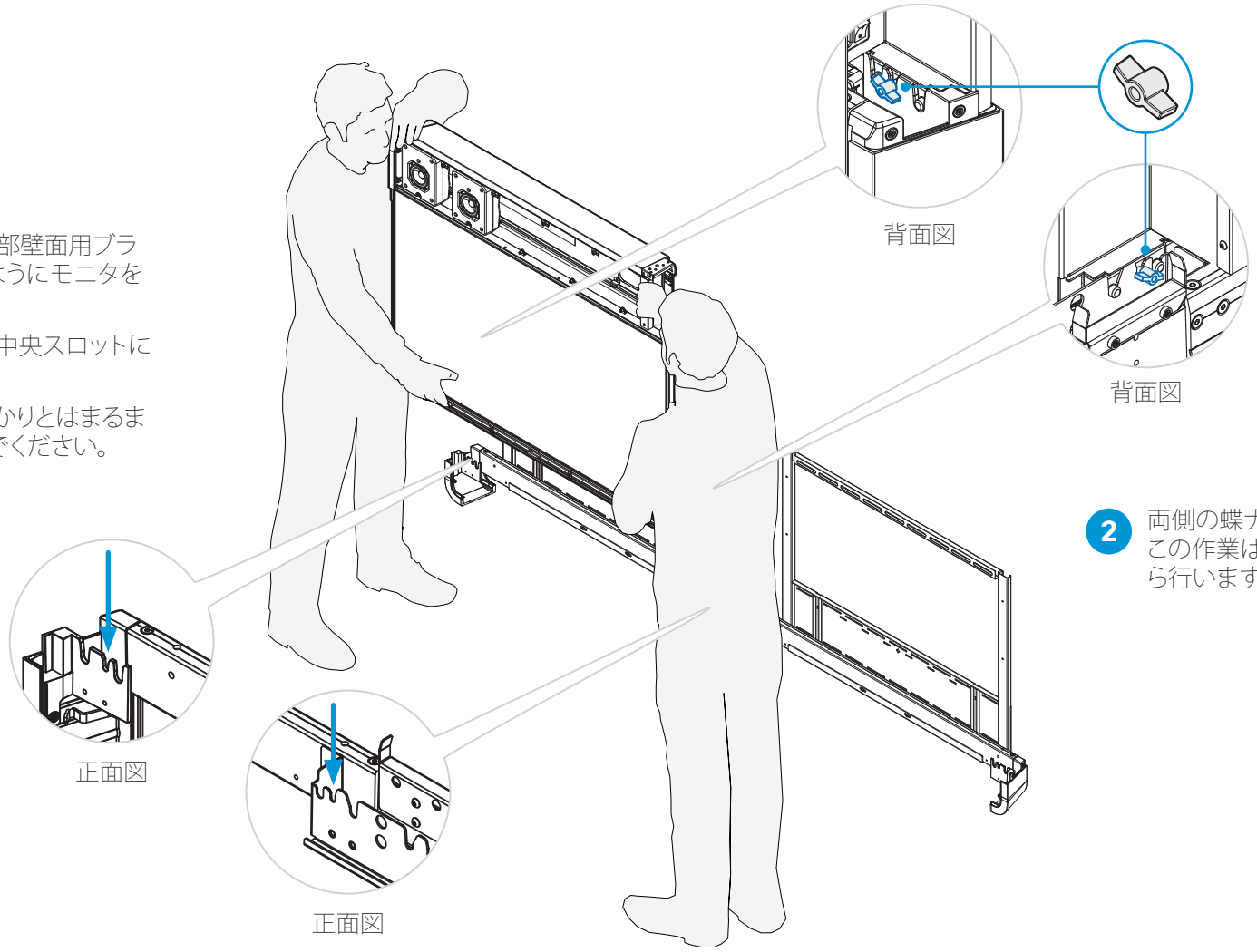
x3

65 kg（144 ポンド）

1 モニタの背面のクランプが上部壁面用ブラケットに完全にスライドするようにモニタを壁に近づけたままにします。

蝶ナット付きのネジが両端の中央スロットに入ることを確認します。

モニタが下側フレームにしっかりとはまるまで、モニタから手を離さないでください。



2 両側の蝶ナットを締めます。この作業はモニタの側面から行います。

 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

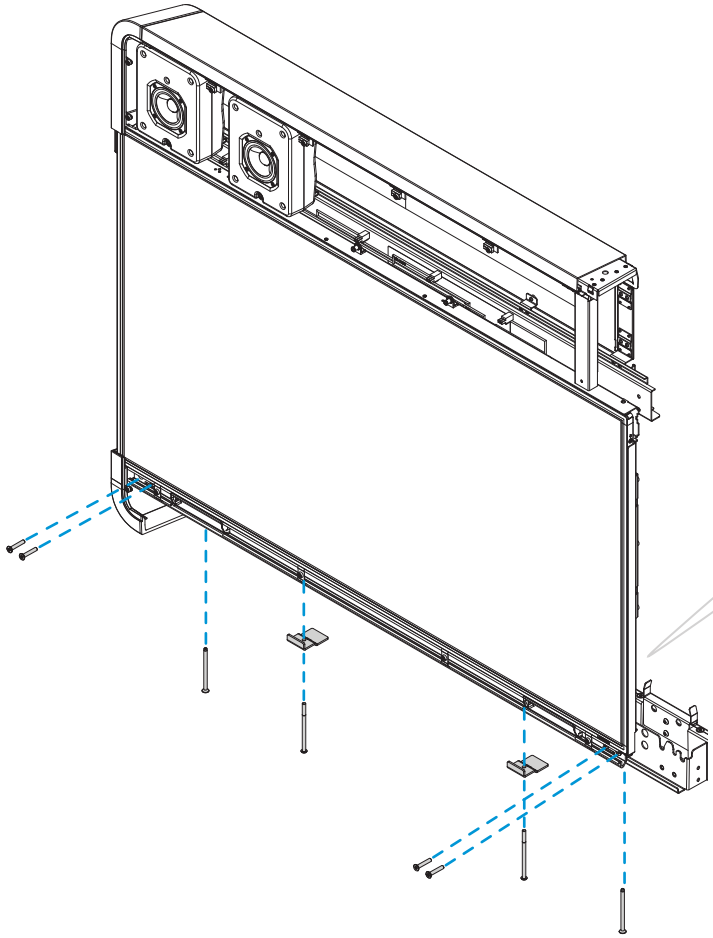
10 左モニタの固定と電源ケーブルの接続

4 X M6x35、さら

2 X M6x90、さら

2 X M6x100、なべ

2 X ブラケット



1 次のネジを挿入します。

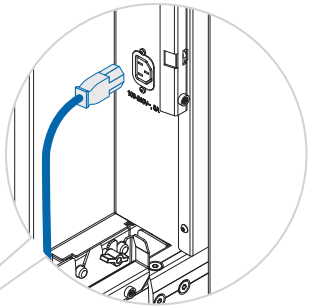
- 前面から 4 本の M6x35 ネジ。
- 下から 2 本の M6x90 ネジ。
- 下から 2 本の M6x100 ネジおよびブラケット。

次に、すべてのネジを締めます。

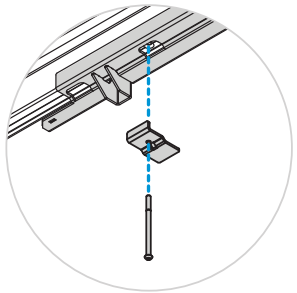
2 電源ケーブルの接続

電源ケーブルはモニタの背面に結び付けられています。電源ケーブルを近くのソケットに接続します。

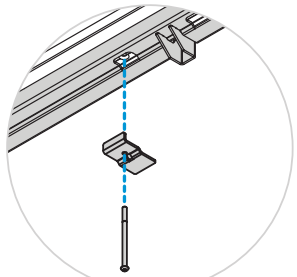
もう一方の端はまだ接続しません。これは手順 12 で右モニタに接続します。



背面図



下から見たモニタの左側



下から見たモニタの右側

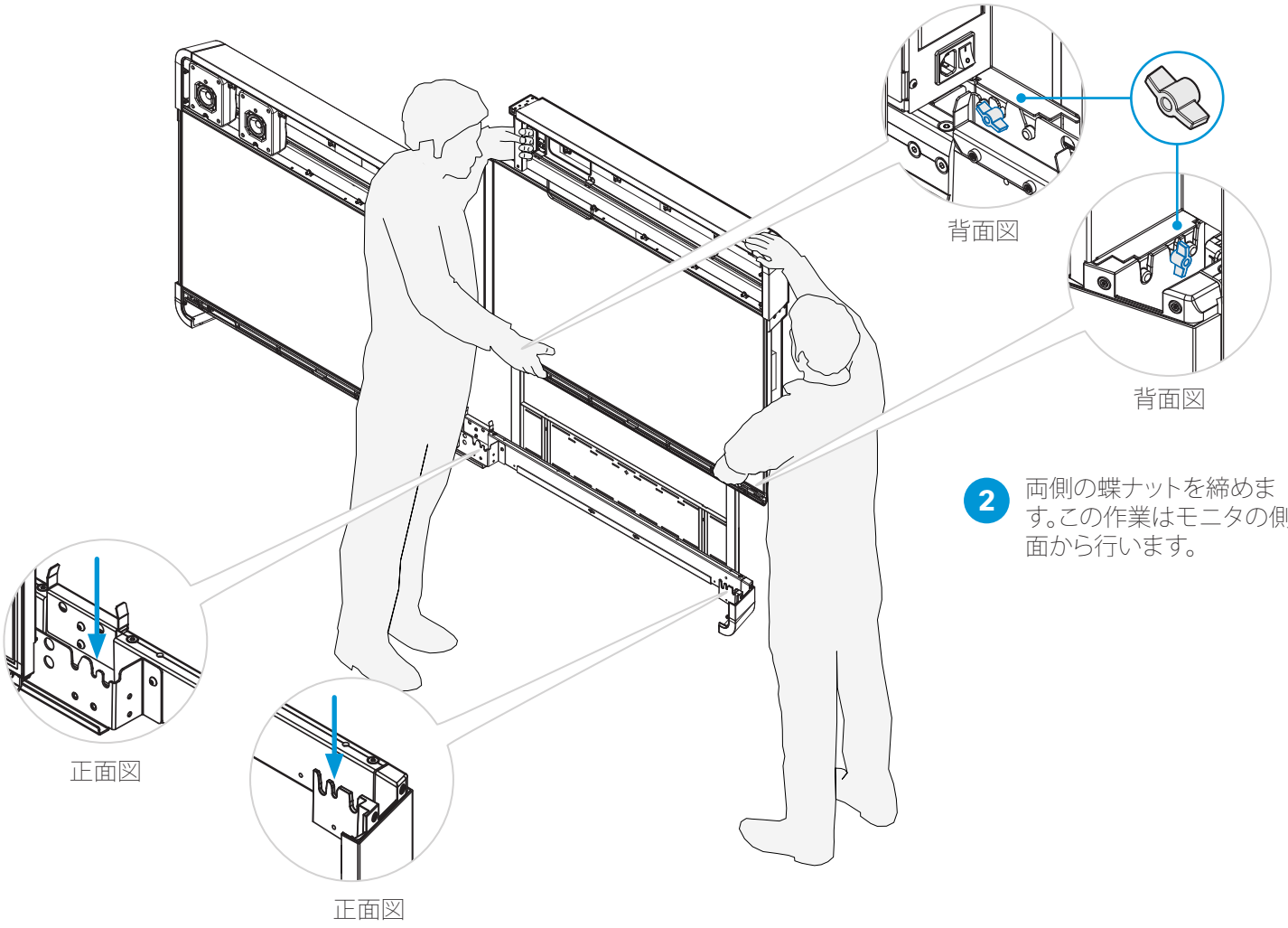
 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

11 右モニタを持ち上げて下側フレームに乗せる

D

x3

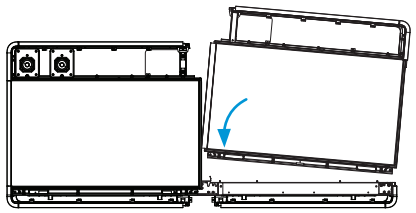
65 kg（144 ポンド）



1 モニタの背面のクランプが上部壁面用ブラケットに完全にスライドするようにモニタを壁に近づけたままにします。

蝶ナット付きのネジが両端の中央スロットに入ることを確認します。

下部フレームに右モニタを下ろす際は、外側を左モニタ側よりも少し下げた状態にします。



モニタが下側フレームにしっかりとはまるまで、モニタから手を離さないでください。

2 両側の蝶ナットを締めます。この作業はモニタの側面から行います。

 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

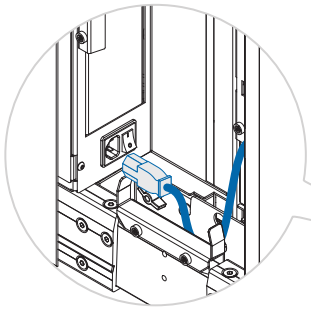
12 右モニタの固定と電源ケーブルの接続

4 X M6x35、さら

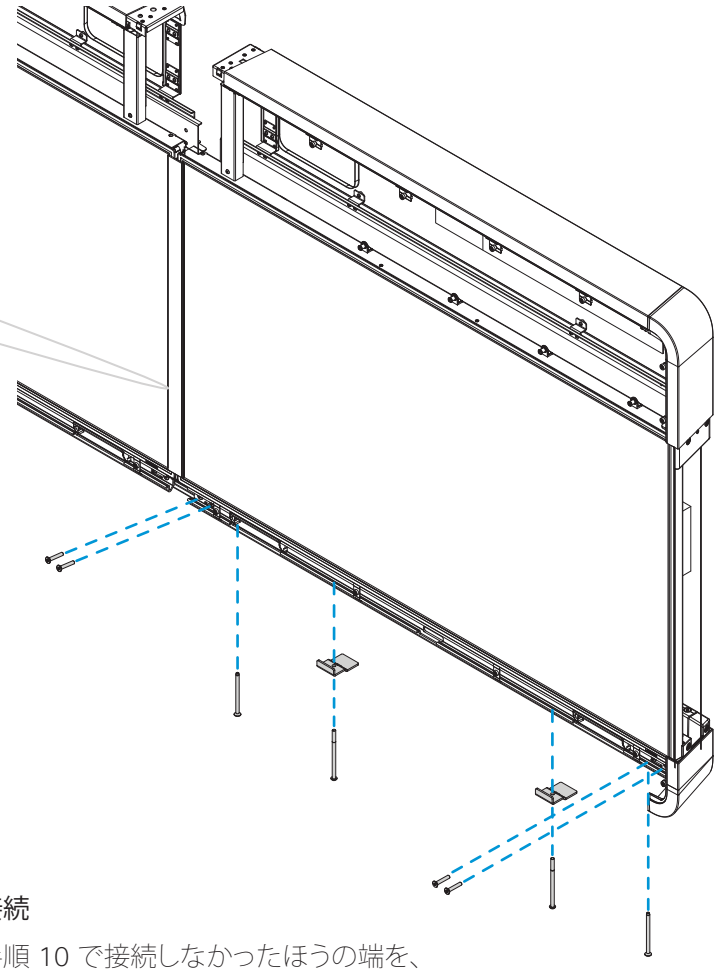
2 X M6x90、さら

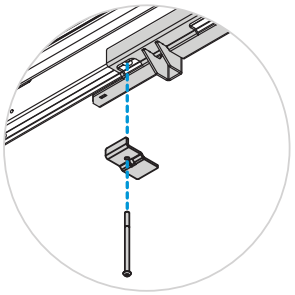
2 X M6x100、なべ

2 X ブラケット

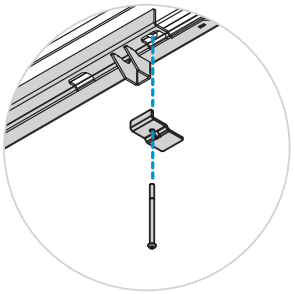


背面図





下から見たモニタの左側



下から見たモニタの右側

1 次のネジを挿入します。

- 前面から 4 本の M6x35 ネジ。
- 下から 2 本の M6x90 ネジ。
- 下から 2 本の M6x100 ネジおよびブラケット。

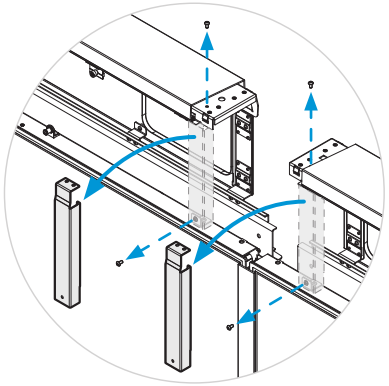
次に、すべてのネジを締めます。

2 **電源ケーブルの接続**

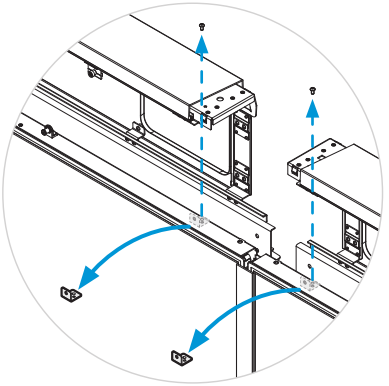
電源ケーブルの手順 10 で接続しなかったほうの端を、右モニタ背面の近くにあるソケットに接続します。ソケッソケットは下から通す必要があります。

ソケットの横の電源スイッチがオンの位置にあることを確認します。

13 支持ハンドルの取り外し



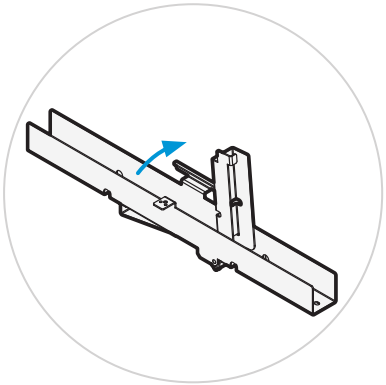
1 ネジ（4 x M4x8）を緩めて支持ハンドルを取り外します。



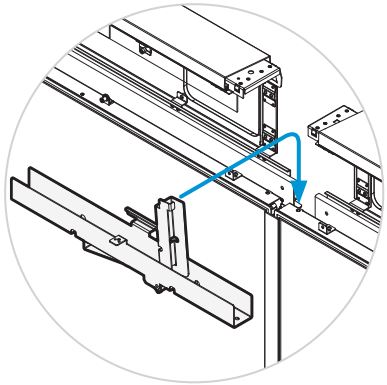
2 ネジ（2 X M4x8）を緩めて支持ハンドルが固定されていたブラケットを取り外します。

14 連結ブラケットの取り付け

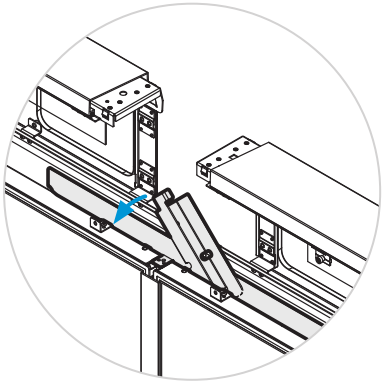
A



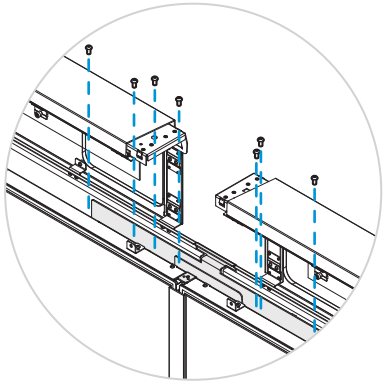
1 レバーを起こします。



2 溝に連結ブラケットを配置します。ブラケットと溝の上端が揃っていることを確認します。



3 レバーを水平な位置まで倒します。



4 7 X M6x12、なべ

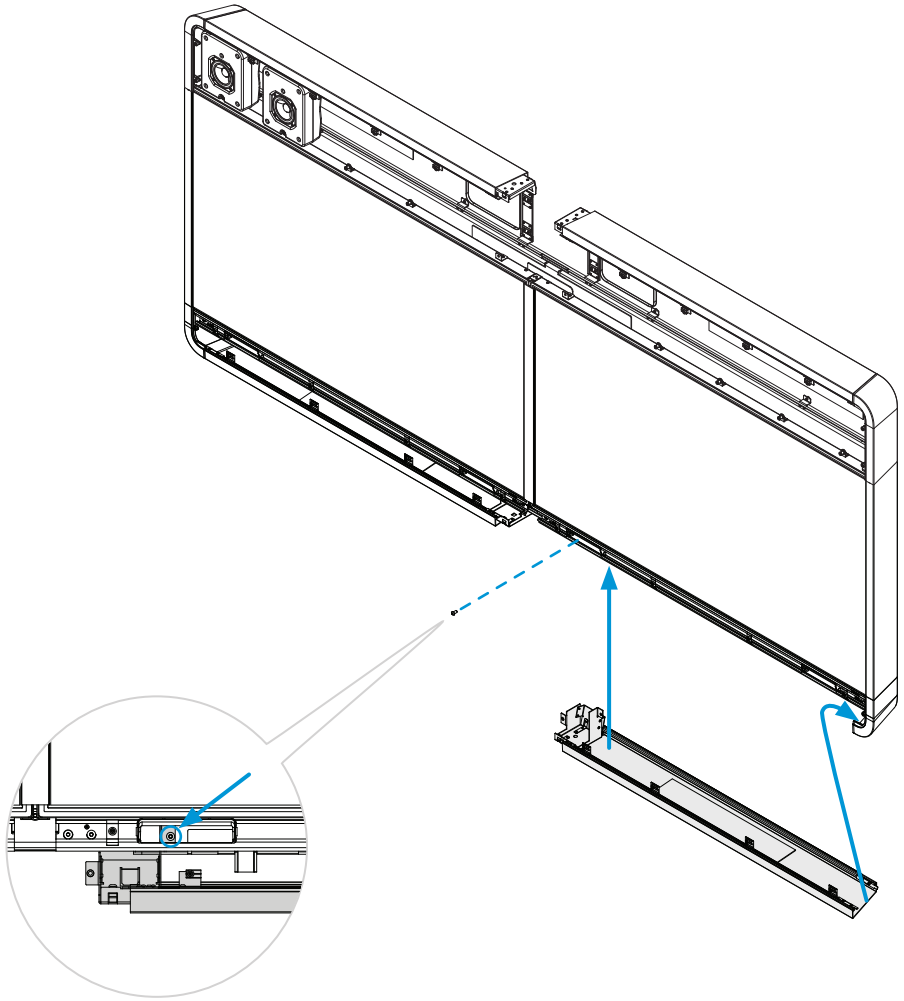
 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

15 下部フレームへのカバーの固定

A

カバーを片側の下部フレームに配置します。カバーを適切な位置で保持したままネジで固定します。ネジ締め作業はモニタの持ち手越しに行います。

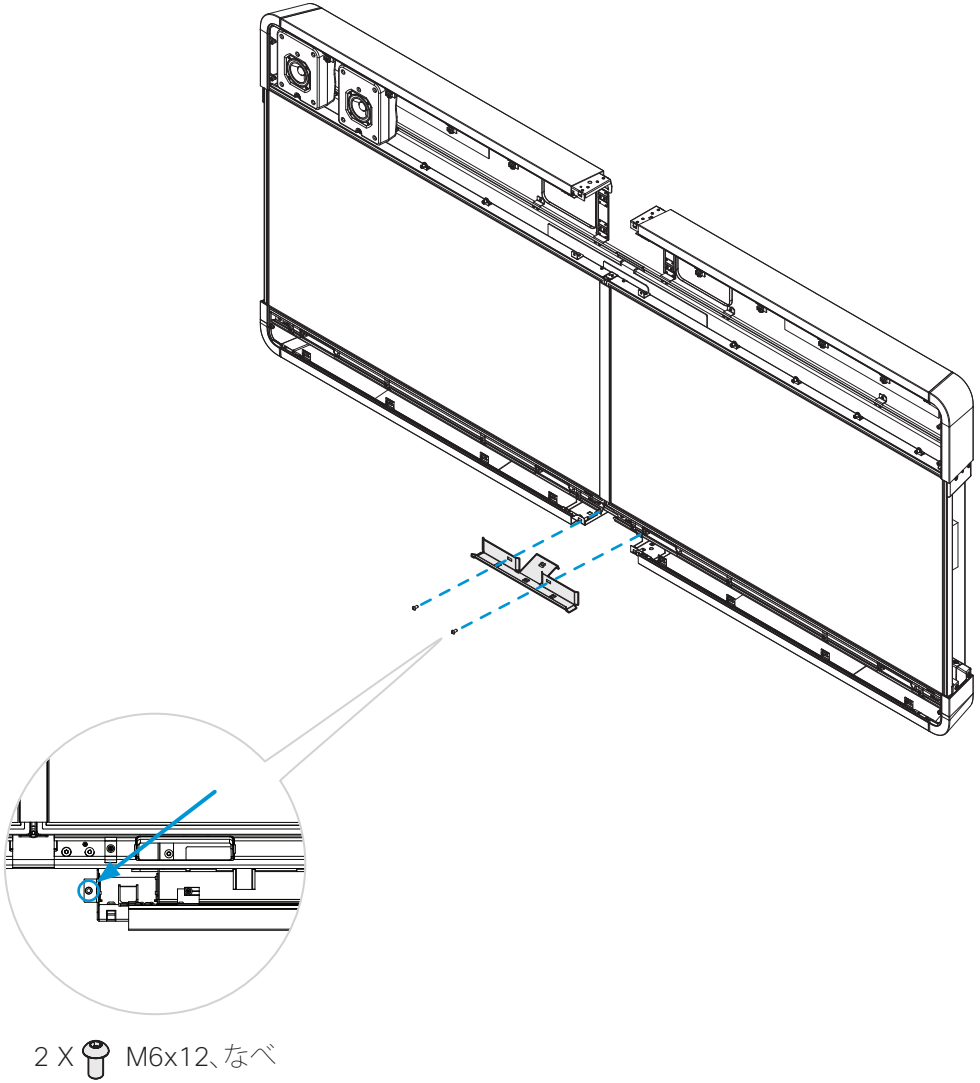
反対側のカバーについてもこの手順を繰り返します。



2 X M6x12、なべ（カバーごとに 1 本）

16 ケーブル ブリッジの固定

B

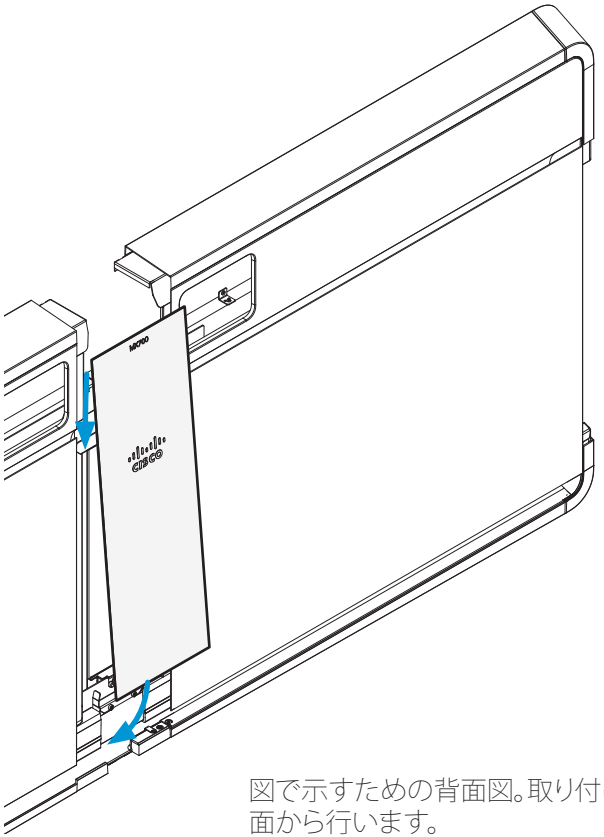


2 X M6x12、なべ

17 背面カバーの取り付け

E

1. 背面カバーのガイダンス ピンを穴に入れます。
2. 背面カバーをシステムの方へと下ろしていきます。カバーはマグネットで留めてあります。

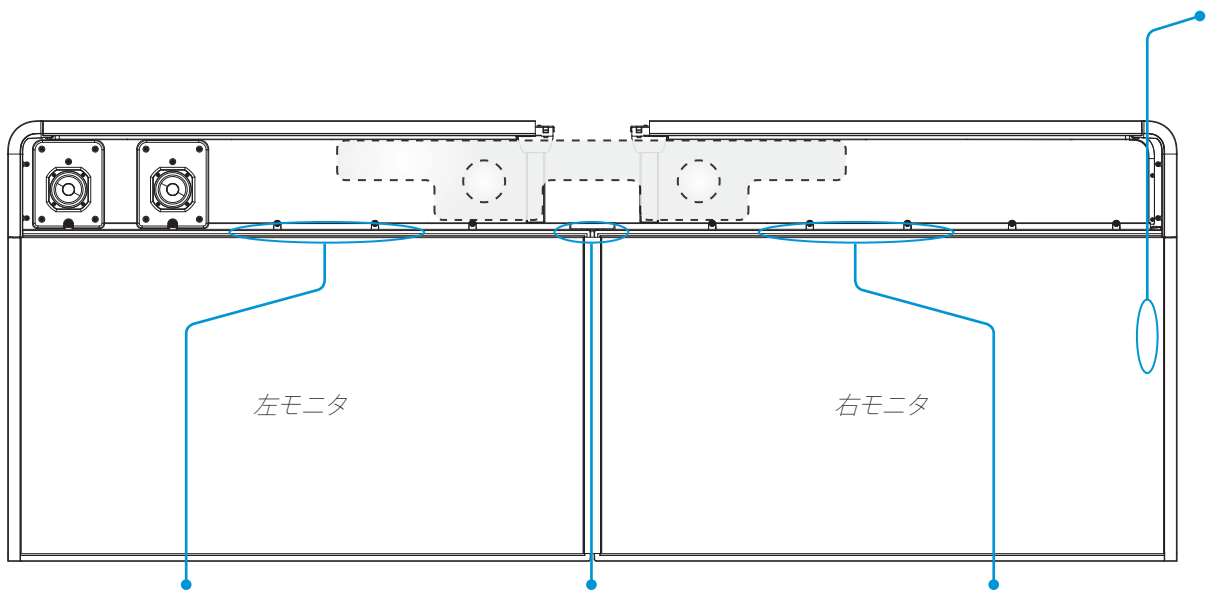


図で示すための背面図。取り付けは前面から行います。

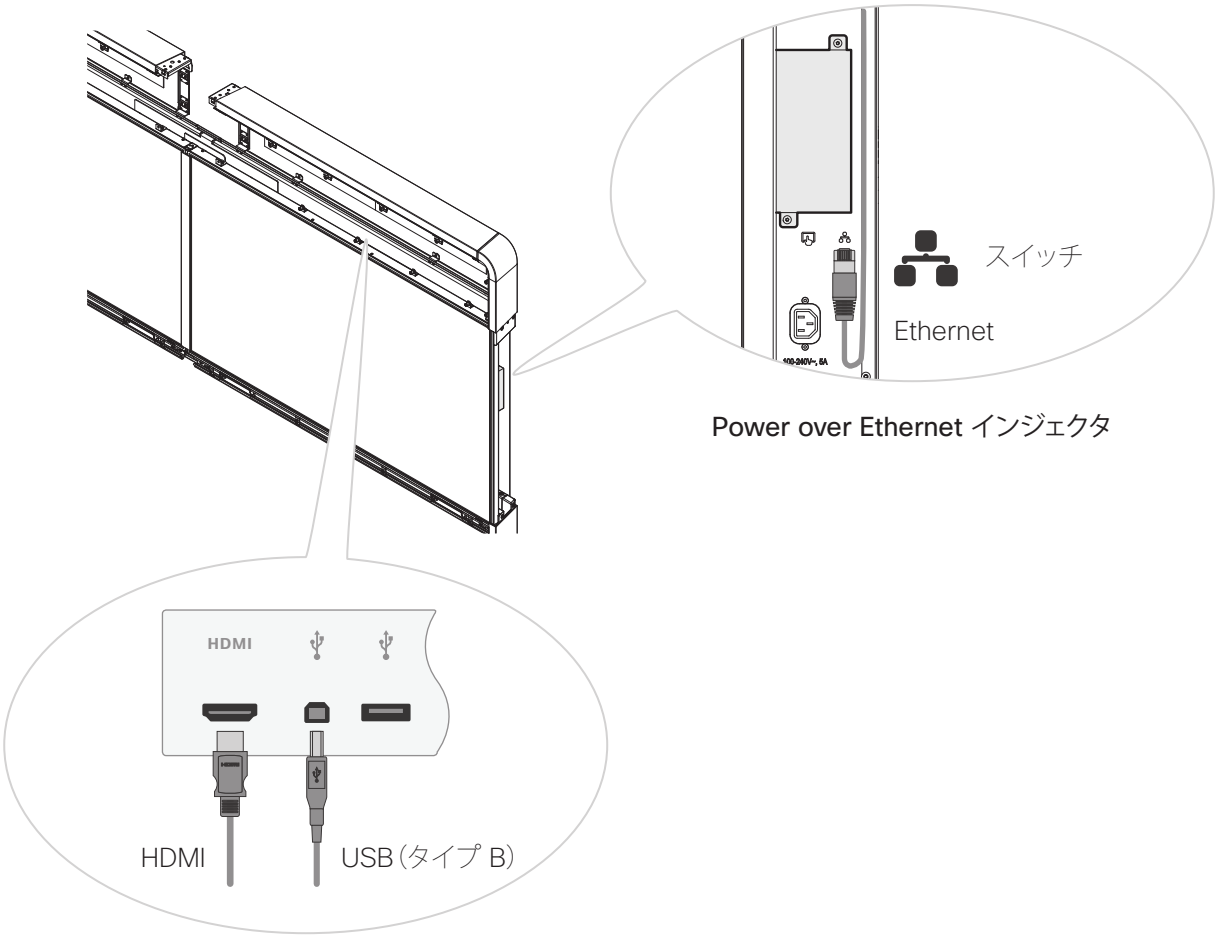
18 取り付け済みケーブルの整理

モニタ最上部の溝にあるケーブルを引き出し、図のように配置します。いずれのケーブルも抜かないでください。

この配置により、手順 20 のカメラ モジュールの設置、および手順 19、21、22 のケーブルの接続が容易になります。



19 右モニタと PoE インジェクタへのケーブルの接続

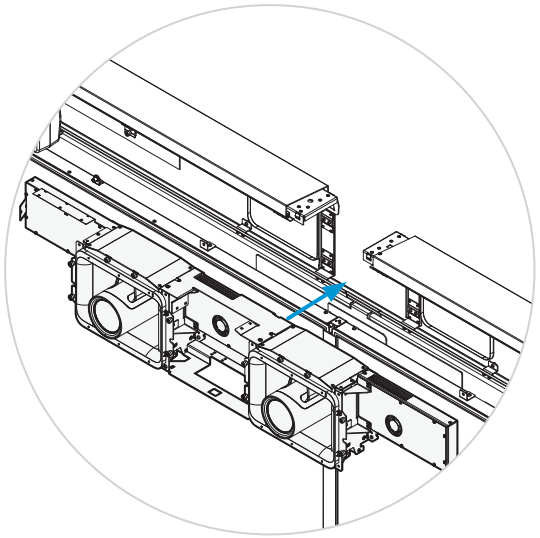


Power over Ethernet インジェクタ

右モニタのコネクタ パネル

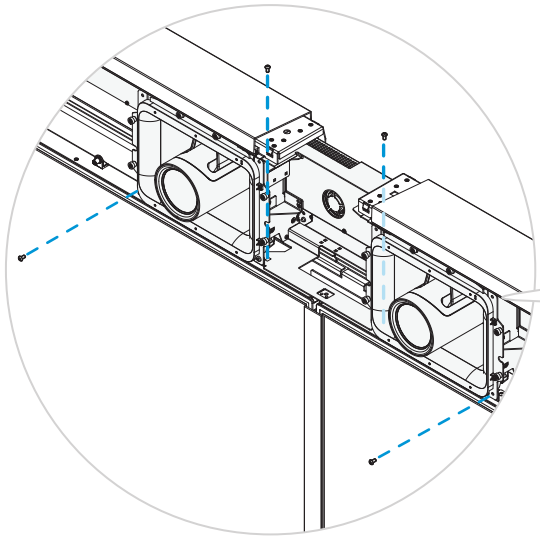
20 カメラの取り付け (1/2 ページ)

F、G

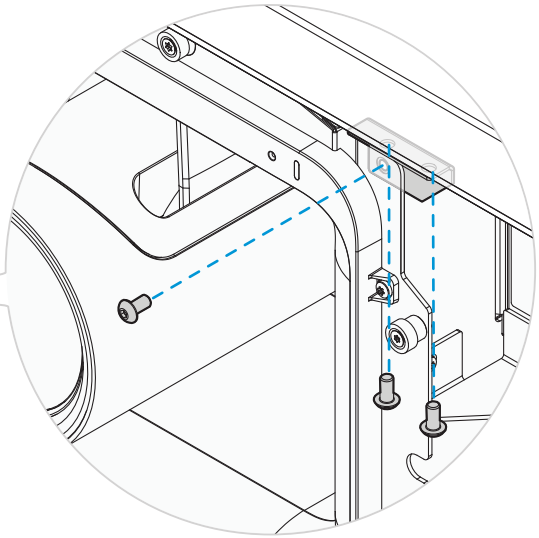


1 カメラの取り付け作業は 2 人で行うことを推奨します。1 人がカメラ モジュールを差し込み、もう 1 人がケーブルの挟み込みがないか確認します。

左カメラの HDMI ケーブルとスピーカー ケーブル 5 は、カメラ モジュール底板の穴を通して接続できるようにしてください。

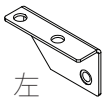


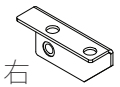
2 4 X M4x8、なべ



3 6 X M4x8、なべ (ブラケットごとに 3 本)

カメラ支持ブラケット





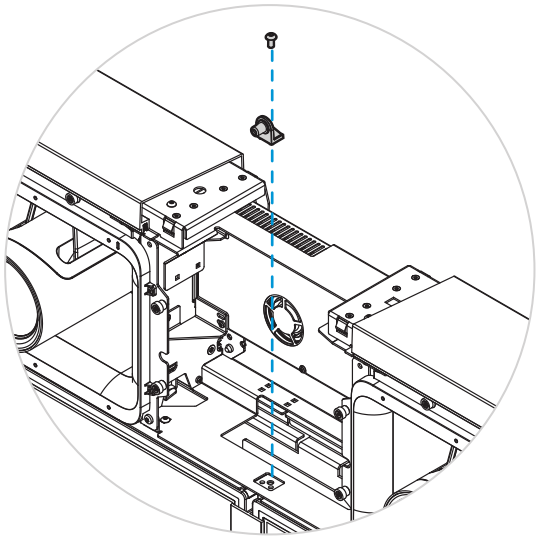
最初に、前面から 1 本のネジを使用して右カメラの右上隅に右カメラの支持ブラケットを固定します。次に、下から 2 本のネジを使用して上部プロファイルに固定します。

同様に、左カメラの左上隅に左カメラの支持ブラケットを固定し、上部プロファイルに固定します。

 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

20 カメラの取り付け (2/2 ページ)

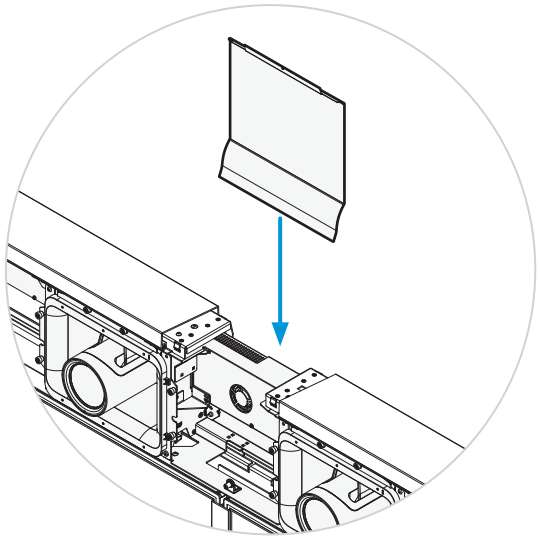
F、G



4 1 X M4x8、なべ

1 x スピーカー クリップ

中央スピーカーのスピーカー クリップを固定します。

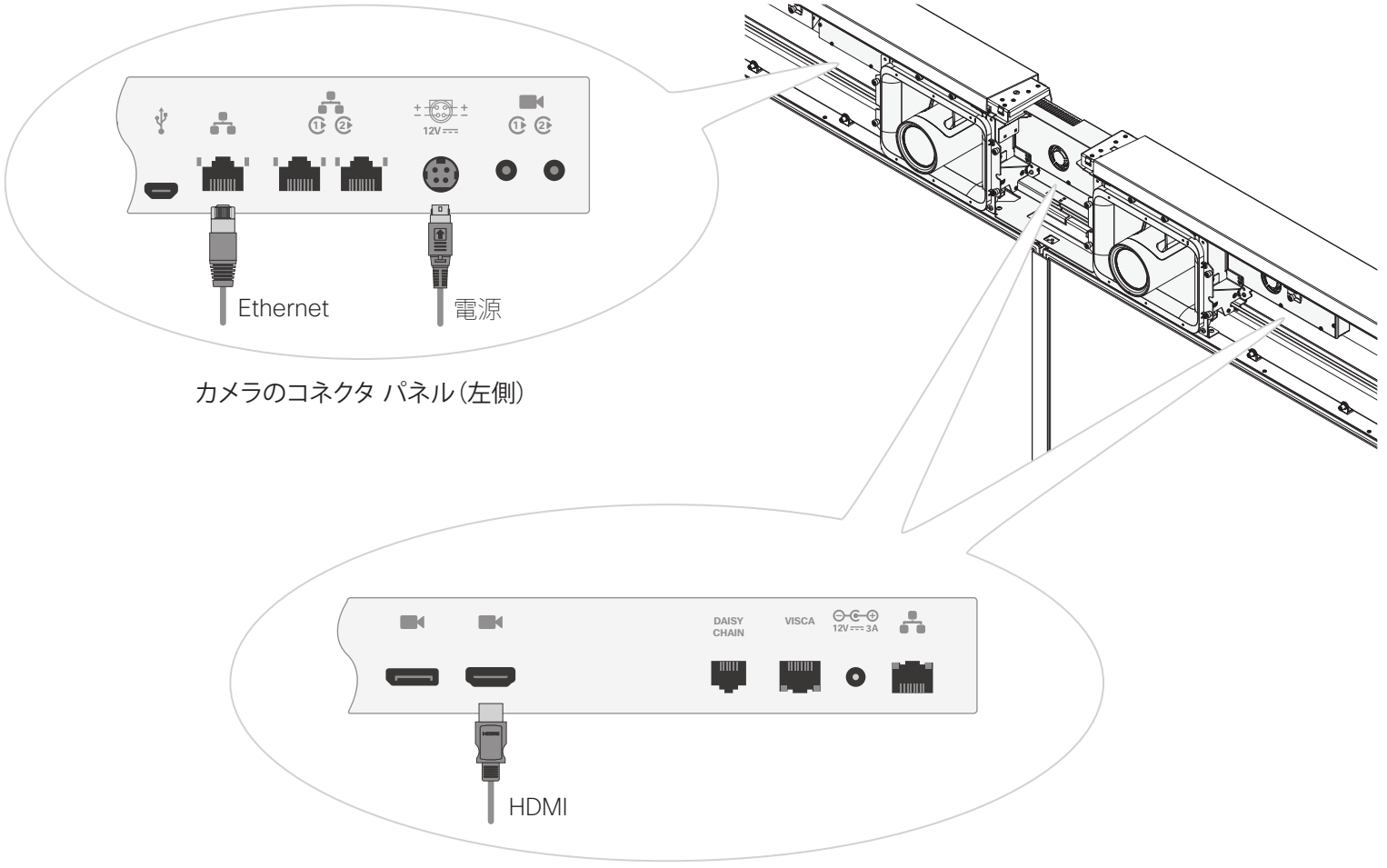


5 カメラ カバーを下側にあるクリップにはめ込み、背面パネルと位置を合わせます。カバーはマグネットで留めてあります。

 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

21 カメラ ケーブルの接続

取り付け済みのケーブルは、いずれも外さないでください。



カメラのコネクタ パネル（左側）

カメラのコネクタ パネル
HDMI ケーブルを、1 本は中央に、もう 1 本は右側に接続します。

 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

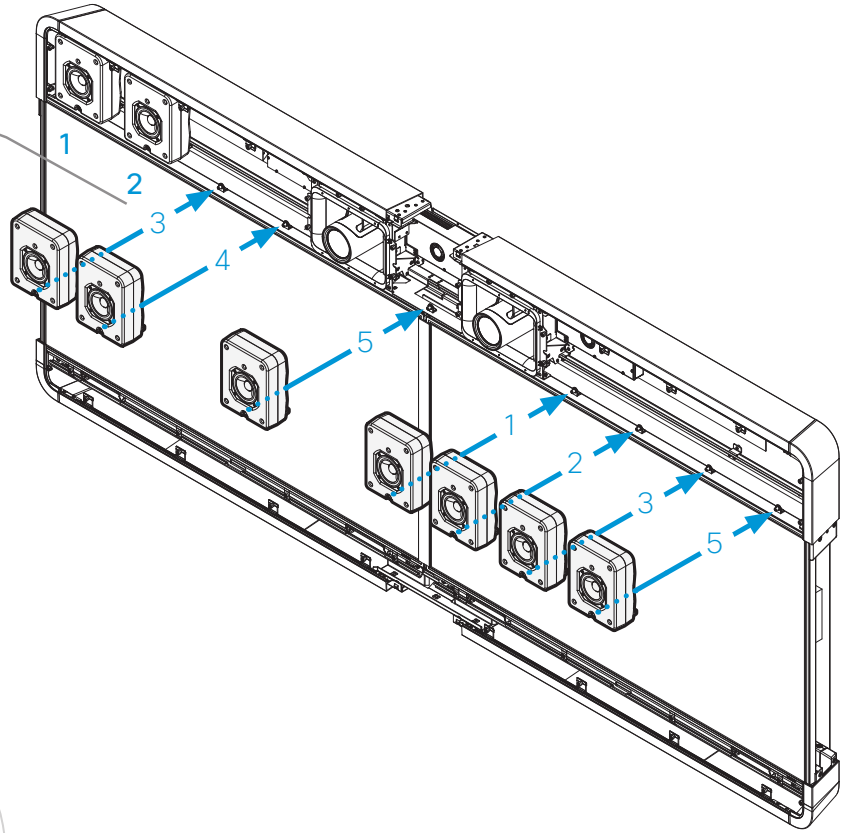
22 スピーカーの取り付け

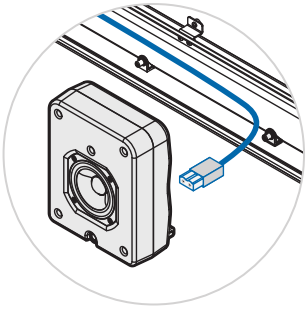
H

2 台のスピーカーは、あらかじめ取り付けられています。残り 7 台のスピーカーについては、手順 1 ～ 3 に従います。

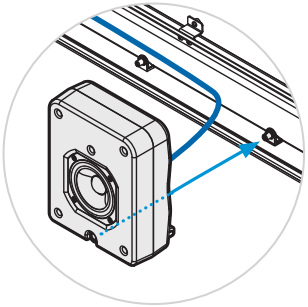
スピーカー ケーブルには番号が付いています。これらの番号は、ここで示すスピーカーの位置と一致させる必要があります。

右モニタの上のケーブル 4 は使用しません。

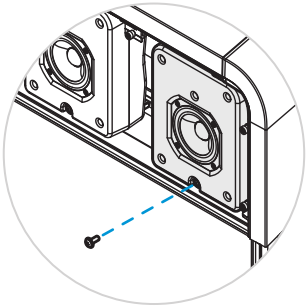




1 ケーブルをスピーカーに接続します。スピーカーの正しい位置がマークされたケーブルを使用します。



2 スピーカーをスピーカー クリップにはめ込みます。ケーブルの挟み込みがないことを確認してください。



3 1 本のネジで固定します。

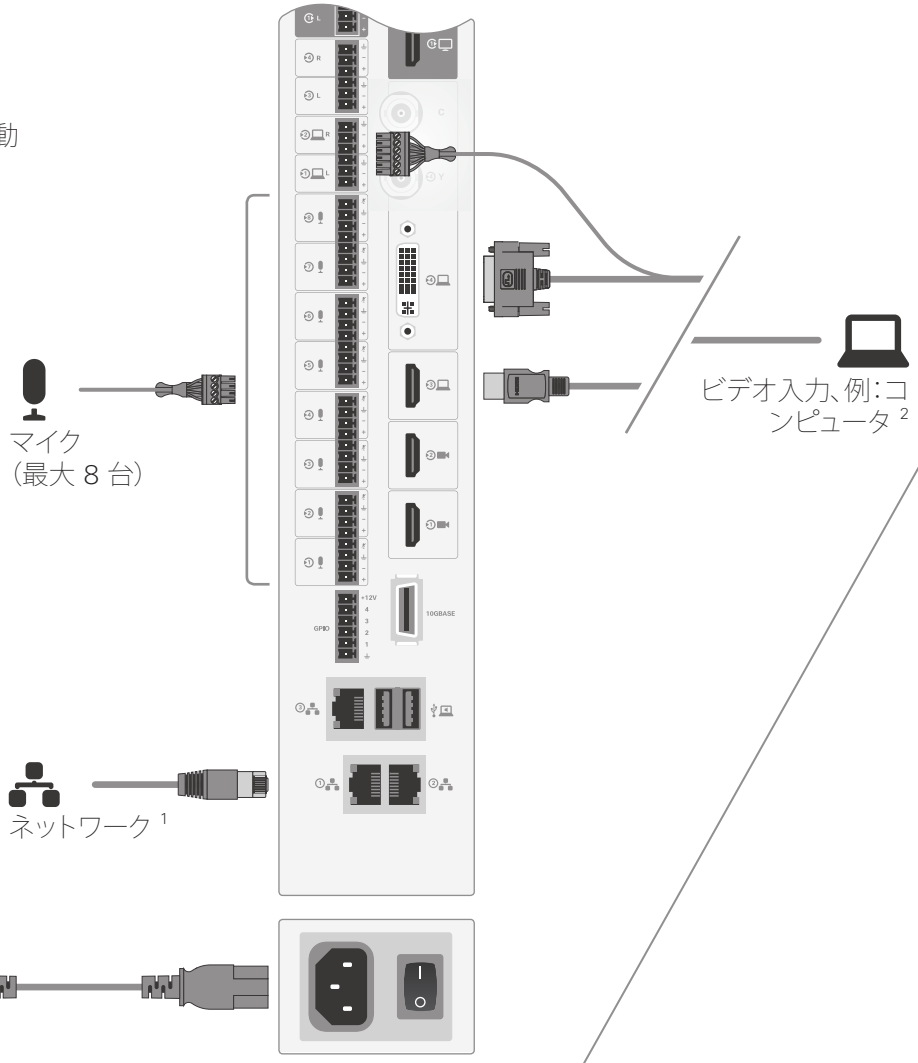
7 X PT4x10（スピーカーごとに 1 本）

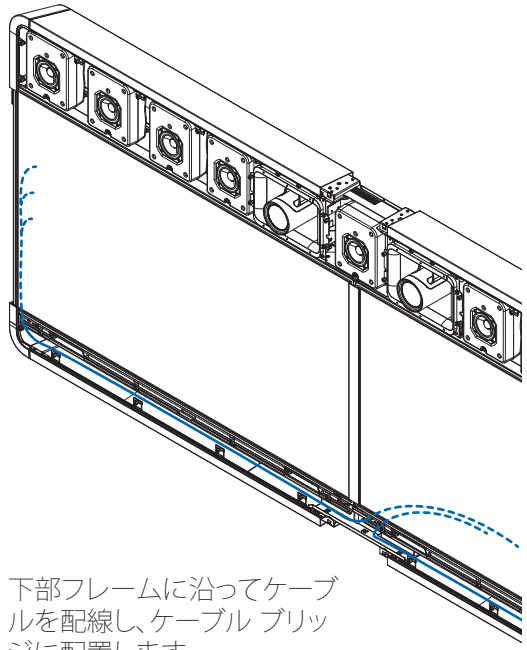
 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

23 外部ケーブルの接続 (1/2 ページ)

I, J

電源に接続する前に、カメラを自由に動かせることを確認します。





下部フレームに沿ってケーブルを配線し、ケーブル ブリッジに配置します。

必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

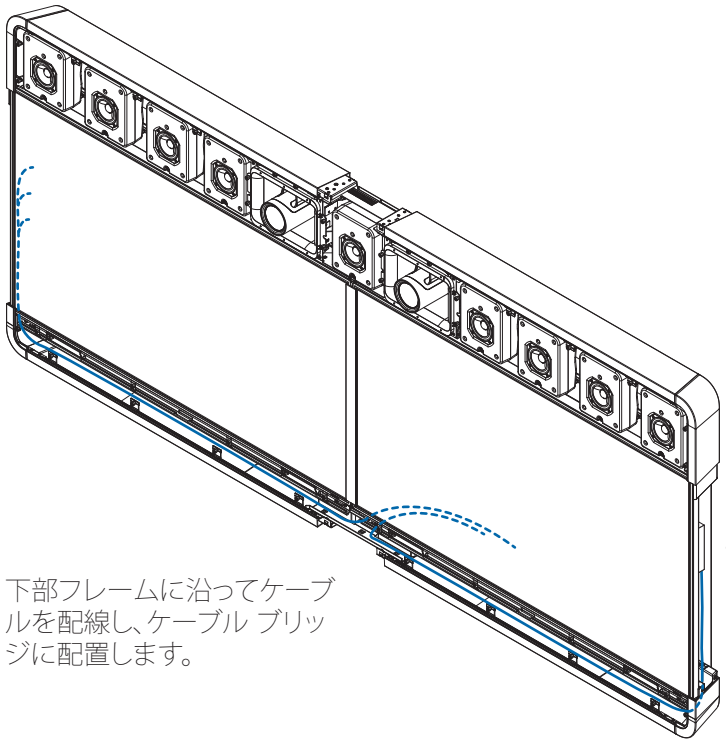
いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐに手が届く状態にしておいてください。

1 CAT 5e、シールド付きイーサネット ケーブル、5 m。

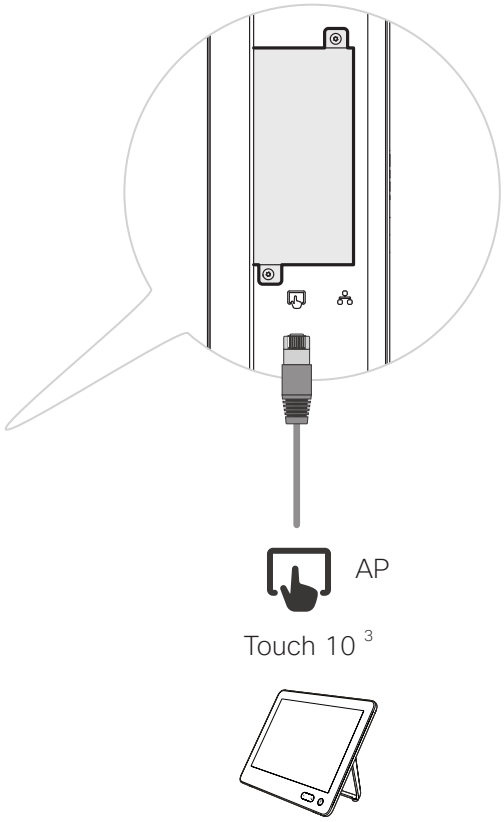
2 表示ケーブルは、HDMI ↔ HDMI および DVI/ユーロブロック ↔ VGA/ミニ ジャックの 2 本が付属。

23 外部ケーブルの接続 (2/2 ページ)

I, J



下部フレームに沿ってケーブルを配線し、ケーブル ブリッジに配置します。



3 イーサネット ソケットは、Touch 10 の背面のふたの中にあります。付属の PoE 規格 CAT 5e イーサネット ケーブル (12.5 m または 4 m、平型) のいずれかを使用します。

 © 2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

24 システムの起動

- ディスプレイから保護フィルムをはがします。
- カメラを自由に動かせることを確認します。
- 壁面のコンセントにネットワーク ケーブルと電源ケーブルを差し込みます。
- システムのスイッチを入れます。

  電源スイッチは、コーデックのすぐ下の、電源コネクタの隣にあります。

  システムが起動するまで数分待ちます。この起動時に、Touch 10 とカメラのソフトウェア アップグレードや再起動が自動的に実行されることがあります。

  起動後に右モニタの電源がオンにならない場合は、モニタ間の電源ケーブルが正しく接続されていることを確認します（手順 10 と手順 12 を参照）。
- Touch コントローラの指示に従います。

  Cisco Spark：Spark 登録済みシステムの使用を開始する方法については、http://help.ciscospark.com にアクセスして会議室システムの「Getting Started」記事をご覧ください。

  他のサービス：設定と構成の詳細については、シスコ Web サイト（http://www.cisco.com/go/mx-docs）から『Getting Started Guide』をダウンロードしてください。

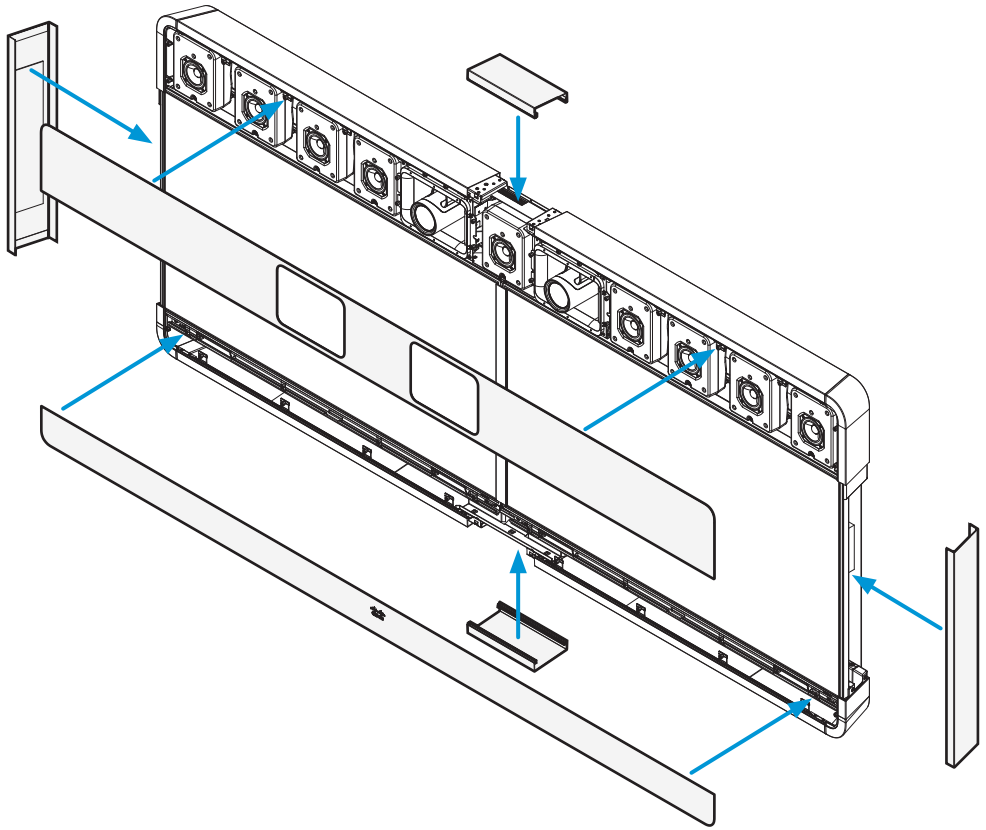
25 カバーおよび繊維製グリルの取り付け

K、L、M

繊維製グリルを扱うときは付属の手袋を着用してください。

上部および下部のカバーはクリップで固定します。

側面のカバーおよびグリルはマグネットで留まります。



オフィスの一覧については、シスコ Web サイト（http://www.cisco.com/go/offices）を参照してください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries.シスコの商標の一覧については、www.cisco.com/go/trademarks をご覧ください。Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners.The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(1110R)